

第8回 基礎・臨床融合の学内共同研究発表会

がんにおける遺伝子異常と予後因子について

日時： 平成24年 7月17日（火）

場所： 大会議室（管理棟3階）

司会： 富岡 昌邦（研究協力課課長補佐）

講演者と演題

1. 旦部 幸博 病理学講座（微生物感染症学部門） 学内講師
「Drs 癌抑制遺伝子による癌化抑制機構」
2. 井上 寛一 病理学講座（微生物感染症学部門） 准教授
「Cyclin D1b 遺伝子による直腸腫瘍発生機構」
3. 茶野 徳宏 臨床検査医学講座 准教授
「診療に於ける新規マーカーの探索と適用」
4. 醍醐 弥太郎 臨床腫瘍学講座 教授
「ゲノム解析に基づいた統合的がん分子病態診断システムの開発研究」

はじめに

研究活動推進室（服部隆則副学長）による基礎医学講座と臨床医学講座が融合した学内共同研究プロジェクト推進のため第8回学内共同研究発表会を開催したので報告する。

平成24年 7月17日(火)16時より大会議室（管理棟3階）で、『がんにおける遺伝子異常と予後因子について』というテーマで、旦部幸博先生（病理学講座微生物感染症学部門 学内講師）、井上寛一先生（病理学講座微生物感染症学部門 准教授）、茶野徳宏先生（臨床検査医学講座 准教

授）、醍醐弥太郎先生（臨床腫瘍学講座 教授）に講演いただいた。

馬場忠雄学長はじめ基礎・臨床あわせて31名の出席があり、各演者の講演終了後には、参加者から活発な質疑がなされ、今後の新たな研究の展開や方向性について手掛かりが得られた。